

## 第3回 メールセミナー

担当：千葉 英士 青森県 千葉整骨院院長  
JSC学術委員

### 臨床ノート (左膝関節痛)

**患者**：M. Yさん 女性 1973生まれ 職業 新体操のインストラクター・

**主訴**：左膝痛

**現病歴**：2年前より運動時に左膝に疼痛、運動痛が起こり数日続く。

**既往歴**：特筆なし

**社会歴**：独身

**家族歴**：特筆なし

**問診**：2年前より最初は体操やジャズダンスの後に少しの痛みを感じたが、筋肉痛位にししか感じていなかった、数週間するとだんだん痛みが増し有痛時間も長くなり色々な医療機関に通院したが、症状は、だんだん悪化し現在運動はしていない。20年以上新体操をしているが、大きな怪我などなく。病気をした事もなし。

### 臨床所見：

- 可動触診にて、膝関節可動域亢進、右仙腸関節可動域亢進、胸椎に数カ所可動制限あり、両肩関節に可動制限あり。
- 触診にて、右臀筋、左右の脊柱起立筋、左右の肩関節周囲筋、膝カ筋、前十字靭帯、内側側腹靭帯に圧痛あり。
- 膝ドロアーT (++) バンスホームT (-) ニーアダクションストレステスト両側(-)
- 腹部触診にて、左右の腎臓やや強めの異常と胆嚢部に強い異常を感じた。

### 治療

#### 1回目 (8月2日)

★左前十字靭帯の治療を左足の末梢刺激を使って行い、胸椎の可動制限を上半身の振動を使って解放、左右の腎臓と胆嚢は、マニピュレーションを使って解放。

☆左膝 内側側腹靭帯圧痛無し、ドロアーT (-) 膝カ筋圧痛無し、  
右仙腸関節可動亢進 正常、胸椎、左右肩関節可動制限、正常

## 2回目（8月4日）

☆左膝ドロアーT 95パーセントOK、膝カ筋圧痛90パーセントOK、

☆両肩関節外転120°～140°回外位で少しの違和感あり

★左前十字靭帯と左右の肩関節の治療は、前回と同様に行い、内臓のマニピュレーションは胆嚢だけ行う。

☆肩関節、左膝関節共に圧痛、可動制限なし。

## 3回目（8月11日）

☆左膝ドロアーT OK、膝カ筋圧痛なし、右肩関節回旋時に違和感あり。

★右肩鎖関節の可動制限を解放、・・・違和感なし

☆両脚四頭筋、膝カ筋、内側、外側ハムストリング筋、腓腹筋、筋力検査OK

☆三角筋、二頭筋、三頭筋、肩関節内転筋群、肩関節外転筋群、筋力検査OK

☆左右腎臓、胆嚢のリングテスト（-）

### 考察

初診の触診時胆嚢の異常を感じた時点で、食生活について訪ねた際、一人暮らしで仕事の終わるのも遅く、つつい総菜やコンビニ弁当が多く、乳製品とサラダは、なるべく気おつけて取るようにしていると、今回のケースは、まず最初に油分の過剰摂取により胆嚢の機能低下を起し、膝関節の安定性が低下し前十字靭帯の域値が低下し、内側側腹靭帯に負荷がかかり、バランスを壊した歩き方をしたために右仙腸関節、胸椎の可動性に異常を来し左右の肩関節にまで可動制限を引き起こしたものと考えられる。左右の腎臓に関しては、痛みに耐えての生活や、よる遅くまでの仕事による時間的拘束等によるストレスかと考える。

その後、彼女はダンスを始めたが、左膝の痛みはなく、食生活の改善により、内臓の働きも、とりわけて問題もない。月に2、3度疲れを取る為に定期整備に訪れているが、頗る元気です。